



八尾市立東山本わかばこども園 2026年



予定

7月感染症状況 (7月1日～7月17日)

手足口病	6人	ヒトメタニューモウイルス	
胃腸炎	6人		8人
溶連菌	6人	コロナウイルス	1人
突発性発疹	2人	嘔吐・下痢	4人
ヘルパンギーナ	1人		

3日(月) 0.1歳 発育測定
4日(火) 2.4歳 発育測定
5日(水) 3歳 発育測定
6日(木) 5歳 発育測定

6月下旬から7月初旬にかけて手足口病を罹患される方が多かったです。手足口病後、1～3週間程度で手のひらや足の裏の皮がむけてきます。それと合わせて、数週間から数か月後に爪が割れたり、剥がれたりすることがあります。これもウイルスの影響による一時的なもので、痛みなどを伴わずに自然と新しい爪に生え変わることが多いです。

おわがい

欠席時「すくすくネット」の入力ありがとうございます。

感染症で欠席する時は、①【お休み】を選択、②【感染症】を選択せず【病気】を選択、③【その他】を選択、病名や症状などを入力してください。感染症を選択すると、病名入力が出来ず何の感染症なのか分からないため上記の方法で入力をお願いします。

また下痢や嘔吐で欠席する時も同じように【下痢嘔吐】を選択せず【病気】を選択し、いつからどんな症状か詳しく入力してください。

感染症の感染拡大を防ぐためにご協力よろしくお願いします。

7月はヒトメタニューモウイルス感染症や溶連菌感染症などを含む発熱のお休みが多かったです。その中で溶連菌感染症についてお知らせします。

～合併症に気をつけましょう～

溶連菌感染症

登園再開の目安

抗菌薬を飲み始めてから24～48時間が経過していること

熱やのどの痛み、
発しんが
出ることも

溶連菌感染症では、38～39度の高い熱が出て、のどが痛みます。のどの検査で診断がついたら、抗菌薬を飲んで治療します。治療をしないと全身に赤い発しんが出るほか、舌がイチゴのように赤くざらざらになるのが特徴です。



薬はしっかり
飲み切って

抗菌薬を飲み始めると1～2日で熱が下がり、症状は落ち着いてきますが、薬は最後まで飲み切りましょう。

症状が治まっても、薬を飲んでいいる間はまだ体の中には溶連菌が残っています。薬の飲み忘れに注意しましょう。しっかり治さないと腎炎などの合併症の危険があります。

レジャーの計画、無理なく立てましょう

① おやつも計画的に

移動中に、おやつを食べさせすぎないように気をつけて。きげんはよくなりますが、甘いものとりすぎになりがちです。



② 生活ペースは子ども優先で

子どもは大人より体力がないのはもちろん、“食いだめ・寝だめ”ができません。食事や睡眠の時間が普段と大きくかわらないようにしましょう。



③ しっかり休ませて

楽しくはしゃいでいても、少しずつ疲れはたまっていきます。疲れが残ると体調をくずしやすいので、しっかり休む時間をつくりましょう。

